

第一章	誕生から高校卒業まで	9
第二章	京都帝国大学・卒業論文	23
第三章	理化学研究所	51
第四章	大阪帝国大学	61
第五章	京都帝国大学	81
第六章	名古屋帝国大学	93
第七章	研究の民主化	113
第八章	混合場理論	133
第九章	素粒子論グループの形成	149
第十章	日本学会議	155
第十一章	相互作用の構造	169
第十二章	湯川記念館、基礎物理学研究所、国際理論物理学会議	177
第十三章	原子力問題（I）	187
第十四章	坂田模型	197
第十五章	ソヴェエト、中国	215

第十六章	原子力問題（II）	235
第十七章	パグウォッシュ会議	255
第十八章	名古屋模型	265
第十九章	原子核研究将来計画	289
第二十章	科学者京都会議	303
第二十一章	北京科学シンポジウム	317
第二十二章	理学部長	329
第二十三章	晩年 発病と死	345

坂田昌一	略年譜	355
坂田昌一	主要著書	371
名古屋大学物理学教室憲章		373

注 377